

単元案の概要

単元名:地域情報番組制作プロジェクト～日本の若者に知ってもらおう!!～					
科目名	日本語	作成日	2016年8月19日	作成者	田慧昕、アブデルラフマーン・エルハディディ、吉川夏渚子、橋本凜、新谷知佳、田中真衣
学年／年次	大学1年	クラス人数	15名	使用教材	テーマと関連する文献、Webページ、ビデオなど
話題分野	文化	言語レベル	レベル2-3	必要時間数	15回×90分

単元目標

1. 目標言語で情報番組を制作、適切に運用。
2. 日本人の若者がタイに来た時、役に立つ情報を提供。
3. 国を超えて、いつでも見られるYouTubeを利用し、地域の観光業を活性化。

コミュニケーション能力指標

<p>【買い物】</p> <p>3-b. 値段の交渉をすることができる。</p> <p>3-f. 人気商品が売れている理由を、尋ねて理解できる。</p> <p>3-h. 日常の買い物について、口頭または書いて紹介しあうことができる。</p> <p>3-i. お小遣いやその使い方について、紹介しあうことができる。</p> <p>【食】</p> <p>2-c. 料理を勧めること、勧められたときの対応ができる。</p> <p>2-g. 自分の食生活について、口頭で説明できる。</p> <p>3-b. 料理番組を見たり、各地の代表的な料理のレシピを読んだりして、材料や作り方が理解できる。</p> <p>3-c. タイの代表的な料理や自分の住んでいる地域の料理について、口頭または文章で紹介できる。</p> <p>3-e. タイと相手の国の食文化について、会話できる。</p> <p>【交通と旅行】</p> <p>2-e. バスや電車にどんな種類があるか、説明できる。</p> <p>3-a. 目的地までのアクセス方法を尋ねたり、説明したりできる。</p> <p>3-e. 将来行きたいところやお勧めの旅行先について、理由を含めて語り合うことができる。</p> <p>3-f. 自分の住んでいる地域の交通事情について、口頭または文章で説明出来る。</p> <p>【身近な人びと】</p> <p>3-b. 好きなことやもの・人について、その理由を含めて、口頭でまたは書いて紹介しあうことができる。</p> <p>3-c. 自分の経験について、語りあったり、書いて伝えたりできる。</p> <p>【日常生活】</p> <p>3-a. 毎日の生活における自分なりの過ごし方や工夫について、会話ができる。</p> <p>【趣味と遊び】</p> <p>3-d. 自分の周りではやっていることやものについて、写真や実物を使いながら、口頭または書いて紹介できる。</p>

学習活動の流れ

語彙・表現習得活動	学習シナリオ
<ul style="list-style-type: none"> • 使えるような文法・語彙・会話スキル • シナリオをもとに練習。 • モデルとなる情報番組を見せ、必要な語彙や表現を理解する。 	<p><場面状況></p> <ul style="list-style-type: none"> • 学習意欲の高いタイの大学主専攻初級後半が対象。 • タイと言えば、バンコク。チェンマイは日本人の若者のなかで、観光スポットとみなされていない。そこで、日本人の若者にチェンマイの魅力を伝えるため、ビデオ制作をし、地元の観光を活性化させる。 <p><活動の流れ></p> <p>別ページ参照</p>

評価活動

形成的評価	総括的評価 ※別途ルーブリックを作成してください
	<ul style="list-style-type: none"> • ビデオの内容(表現、情報量・質、完成度)

単元案の概要

学習シナリオ

【プレコミュニケーション活動:6コマ】

- 第1,2回:番組制作をするにあたり、必要な文法・語彙・会話スキルを日本の情報テレビ番組を探す。
- 第3,4回:日本語で書かれたガイドブックを分析し、日本人の好みを分析する。
- 第5,6回:番組制作にあたり、肖像権、コピーライトを守るように教師が指導する。

【コミュニケーション活動】

- 第7回:学習目標の提示
 - ・プレコミュニケーション活動で探したモデルとなる日本の情報テレビ番組から日本人司会者やレポーターの話し方や、使用語彙・表現など、必要となるものを学習する。
 - ビデオを見て、「構成」「内容」「態度」を分析、グループ分け(5人×3Gr)を行う。
 - さらにテーマ選び(食事、ショッピング、旅行)も行う。
- 第8回:
 - ・情報収集(現地在住の日本人にインタビュー)を行い何を伝えるか決める、アウトライン作成、役割分担
 - ・指標リマインド(プレコミュニケーションで既に伝えたもの)
 - ☆宿題:紹介したい写真や情報を収集
- 第9回:
 - ・シナリオ作成(タイ語)
 - ☆宿題:各自担当部分を日本語に訳す
- 第10回:
 - ・宿題で訳してきた日本語を学生同士でチェック。(教師も確認を行う。)
- 第11回:
 - ・シナリオをもとに練習、クラス内で制作した番組を発表(学習者・教師からフィードバックを行う。)
- 第12回:
 - ・前回の授業でのフィードバックを反映させ、修正を行う。ビデオ撮影(雑談シーン)を大学内で実施する。
- 第13, 14回
 - ・ビデオの編集作業を行う。(教師も確認する。)
- 第15回
 - ・上映会←教室内で総合評価(相互あり)
 - ・ビデオをYoutubeへアップロード。その後、SNSでもシェア
- 終了後
 - ・旅行会社を訪問し、ビデオ紹介を行う。

3×3+3 分析表

	言語領域	文化領域	グローバル社会領域
わかる	<ul style="list-style-type: none"> インタビューや番組の司会で必要な語彙や表現を理解する。 テーマに関連する語彙や表現を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本人がタイに来る際に、必要となる情報を調べ、その要素をまとめる。 現地の代表的な料理を調べる。 値段の交渉の仕方が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> インタビューの仕方やコミュニケーションのとり方が分かる。 タイにいる日本人にインタビューをして、必要な情報を尋ねる・調べる。
できる	<ul style="list-style-type: none"> 現地の食生活や観光スポットについて、口頭で説明できる。 バスや電車にどんな種類があるか、説明できる。 目的地までのアクセス方法を尋ねたり、説明したりできる。 	<ul style="list-style-type: none"> 料理を勧めること、勧められたときの対応ができる。 観光地の歴史や文化などを調べて、紹介できる。 値段の交渉をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本人が知りたい情報をインタビューを通して知ることができる。 番組制作に向けた役割分担を決め、役づくりの練習およびビデオ撮影をおこなう。 ビデオ制作のための技術を身につける。
つながる	<ul style="list-style-type: none"> 番組 (youtube) を通して、日本の若者に見てもらい、ネット上で交流を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> インタビューを通して、テーマに関連することや、モノ、人について、その理由を含めて、紹介しあうことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ビデオを制作し、youtube にアップして、日本の若者に有益な情報を提供する。
三連携	<p>【学習者】歴史や文化を調べることを通して、理解を深める。</p> <p>【教室外】タイにいる日本人にインタビューを行い、youtube を通して日本人と交流する。</p> <p>【他教科】歴史や地理の教科。</p>		

総括的評価のルーブリック

→レベル ↓評価要素	目標以上に達成 (4点)	目標を達成 (3点)	目標達成まであと少し！ (2点)	目標達成まで努力が必要 (1点)
表現	習った語彙や表現を適切に使用し、さらに紹介するために新しい表現を用いた。	習った語彙や表現を適切に使用することができた。	間違った使い方をしているところもあるが、習った語彙や表現を使うことができた。	習った語彙や表現を使おうとしている。
情報量・質 ×2	豊かかつ日本人の好みであった情報をわかりやすく、聴衆者に伝えることができた。	必要最低限、日本人の好みに合った情報をわかりやすく聴衆者に伝えることができた。	わかりやすく聴衆者に伝えることができたものの、情報量が少なかった。	情報量が少なく、聴衆者に伝わりにくいところがあった。
ビデオの完成度	構成が明確で、聴衆者の興味を引くような、ビデオができた。	構成が明確で、誰でも理解できる、分りやすいビデオができた。	構成がやや不明瞭ではあるが、理解できるビデオができた。	構成が不明瞭で理解しづらいビデオだった。